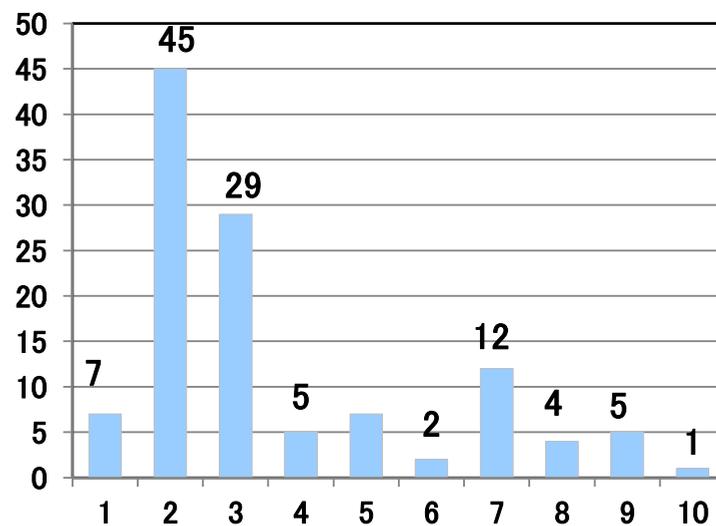


H24年度 Advanced COSA(1) クリッカーアンケート/グラフ

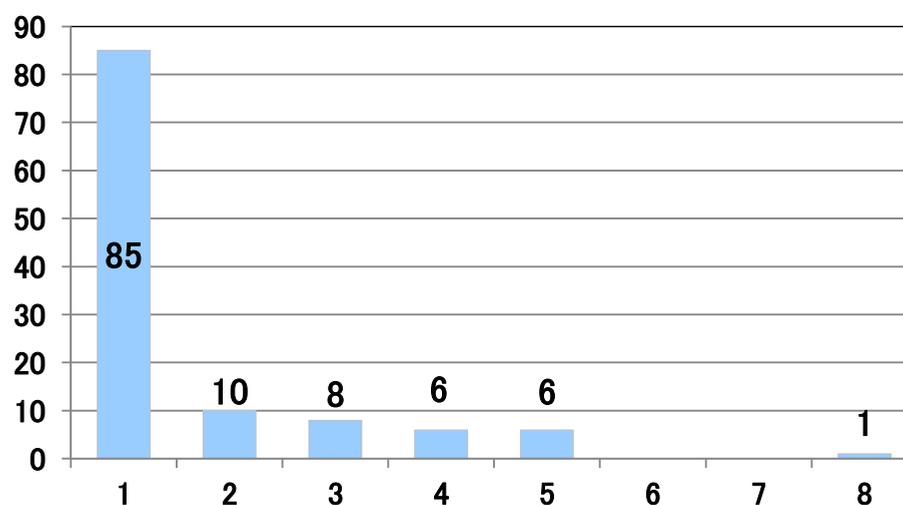
[1] あなたの所属を教えてください。

- 1.理学院/理学研究院 2.生命科学院/先端生命科学研究院 3.農学院/農学研究院 4.工学院/工学研究院
5.環境科学院/地球環境科学研究院 6.情報科学研究科 7.総合化学院 8.水産科学院/水産科
9.医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学 10.その他 11.未回答



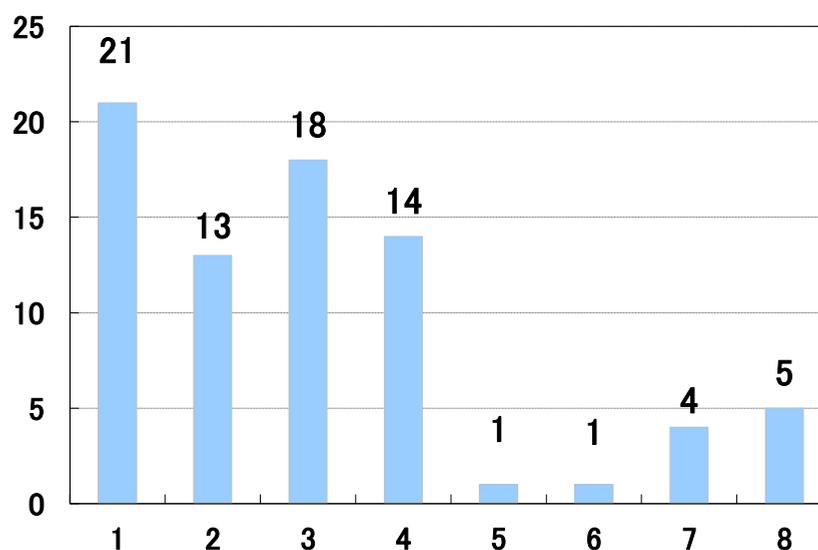
[2] あなたの学年・身分を教えてください。

- 1.MC1 2.MC2 3.DC1 4.DC2 5.DC3 6.DC4以上 7.PD 8.その他/教員など



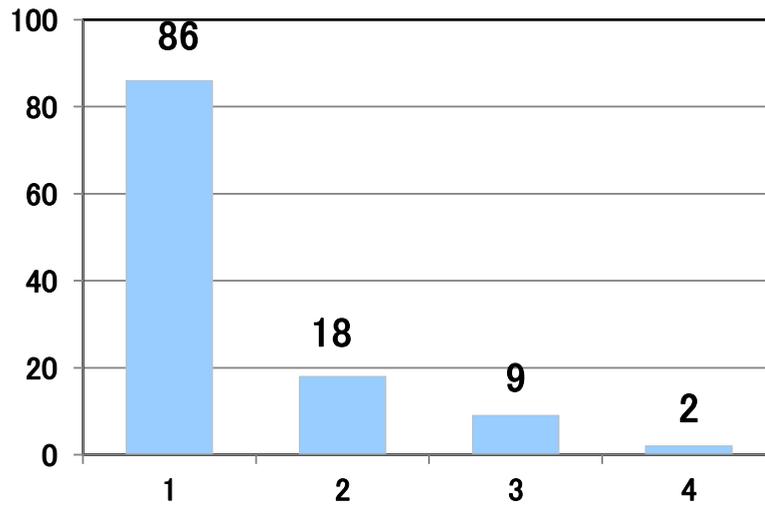
[3] あなたの出身学部を教えてください

- 1.理学部 2.工学部 3.農学部 4.薬学部 5.獣医学部 6.医・歯学部 7.水産学部 8.その他



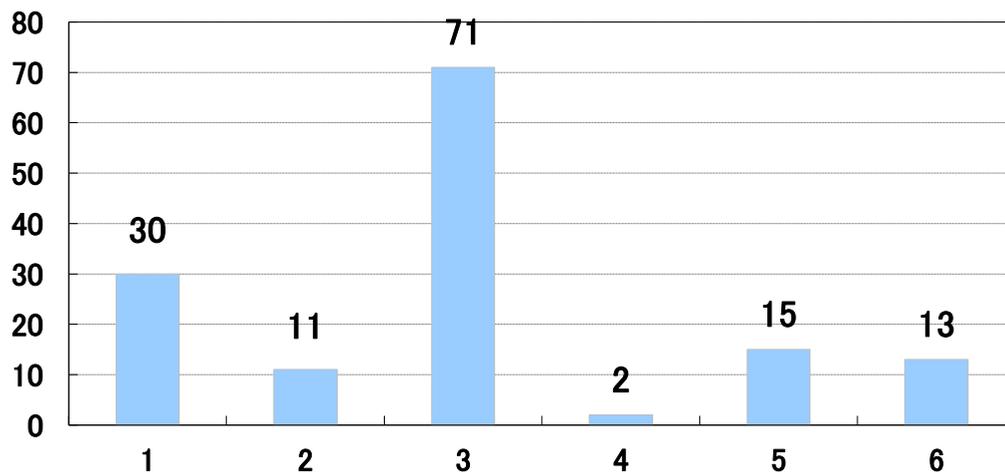
[4] 人材育成本部主催のセミナー等受講は初めてですか？

1.初めて 2.2回目 3.3回以上 4.未回答



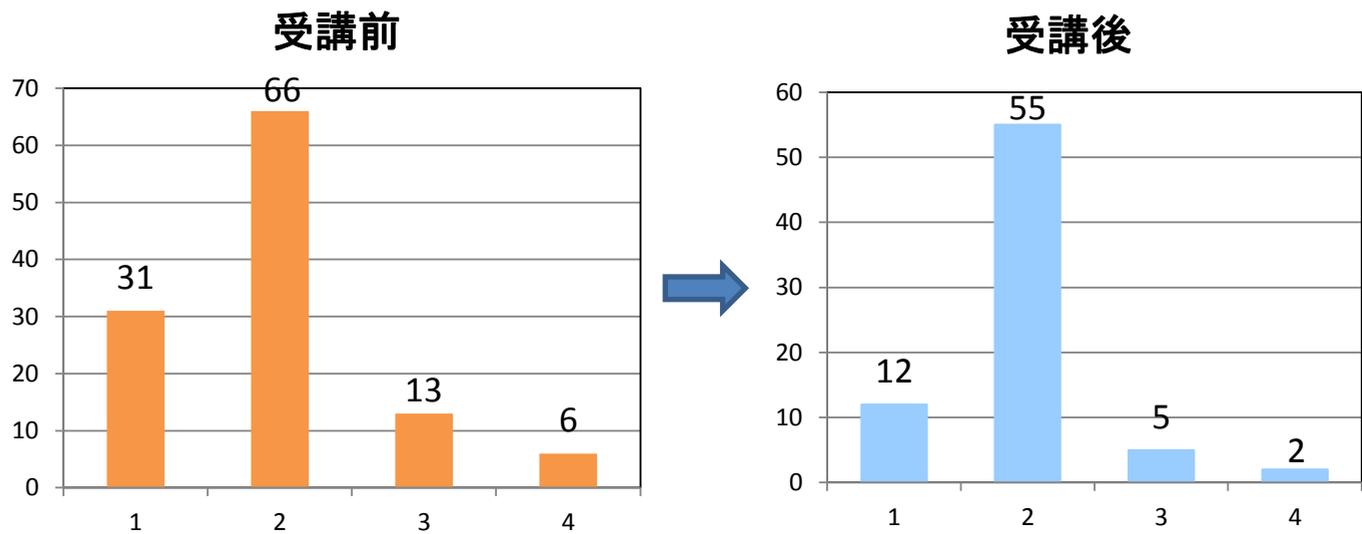
[5] どのような分野への就職を希望しますか？

1.大学教員 2.国立研究所/試験所 3.企業研究開発部門 4.中学・高校教員 5.その他 6.今は考えていない



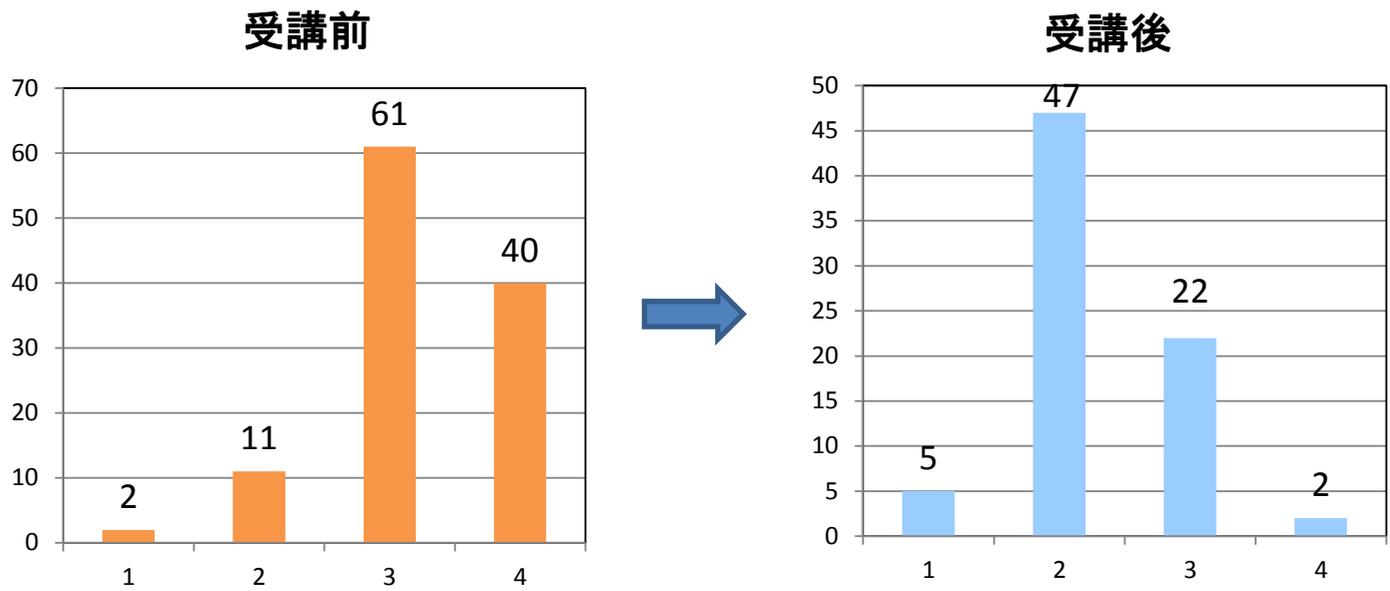
[6] どのような分野の企業に就職したいですか？

1.専門にマッチした企業 2.どこでも特に拘らない 3.専門とは異分野の企業 4.企業就職は考えていない



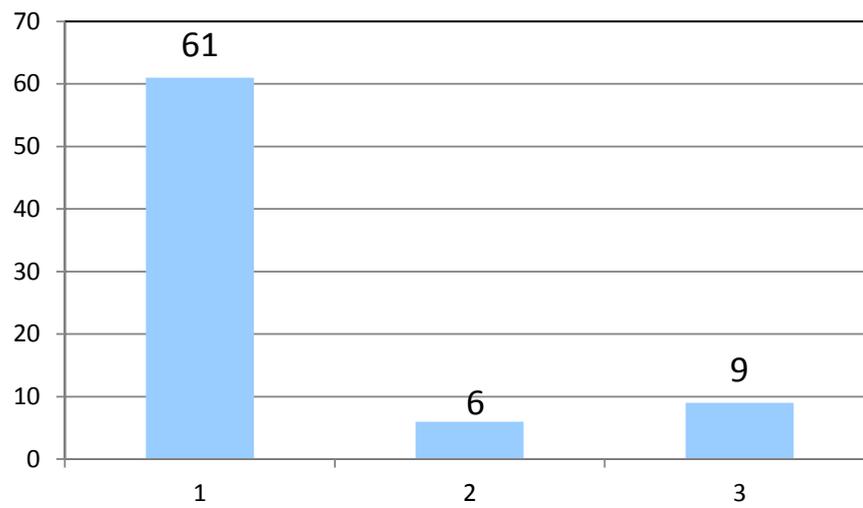
[7]企業の研究開発についてあなたはどの程度理解していますか？

- 1.具体的によく理解している 2.ある程度理解している 3.あまりよく理解していない 4.全く理解していない



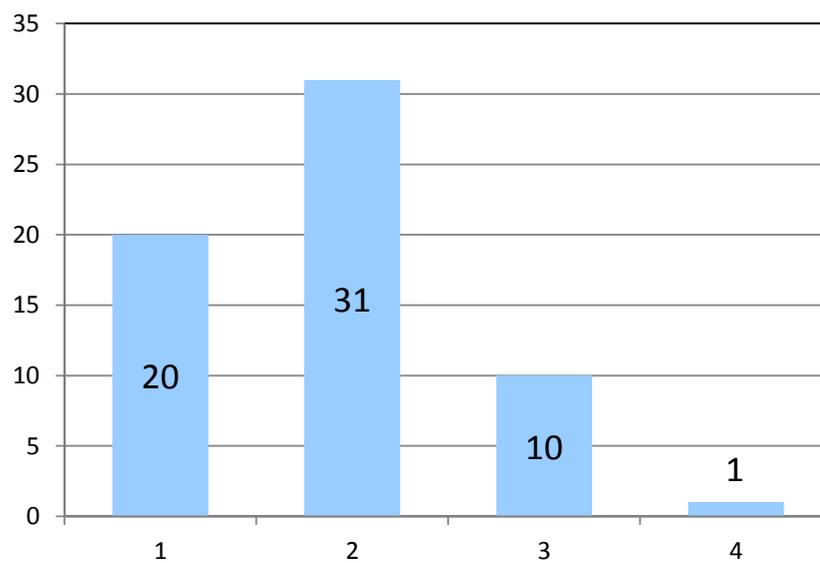
[8]今回の講義を受講して、企業研究の面白さ、特徴、実際の理解を進めることが出来ましたか？

- 1.はい 2.いいえ 3.わからない



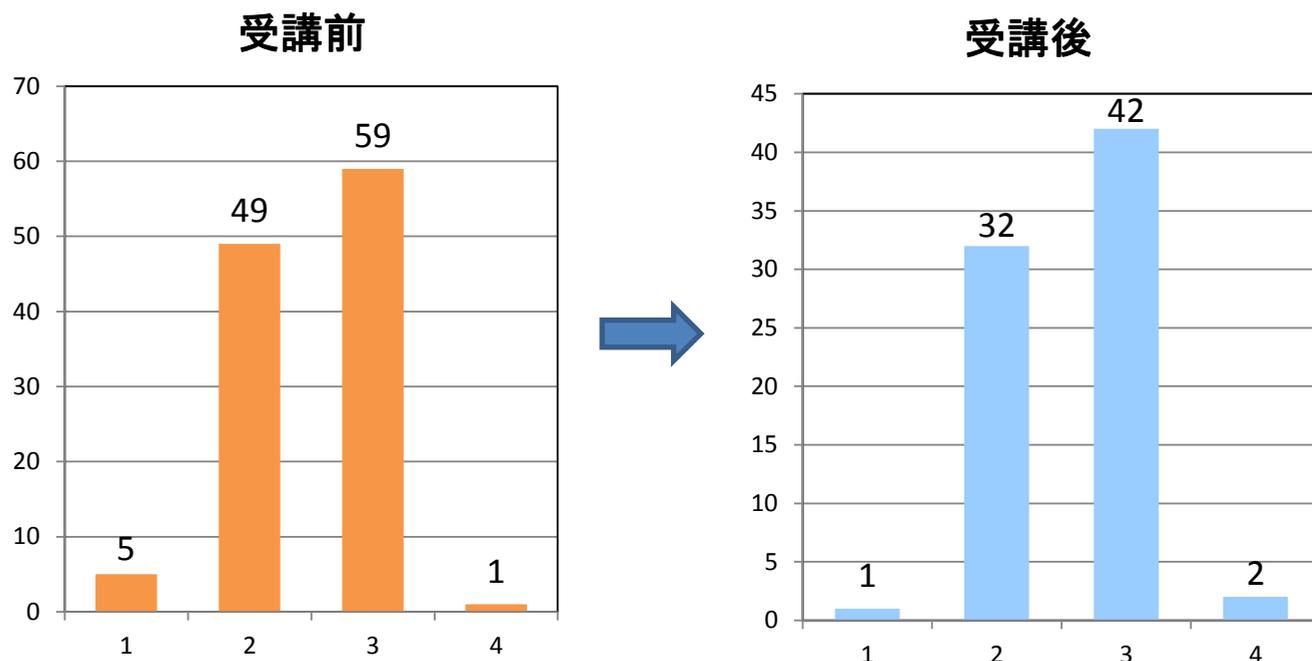
[9]企業での研究開発業務についてある程度以上理解したあなたはそこに魅力を感じましたか？

- 1.大変興味深くおもしろい 2.ある程度は興味を感じた 3.あまり興味がわかなかった 4.全く興味がわかなかった



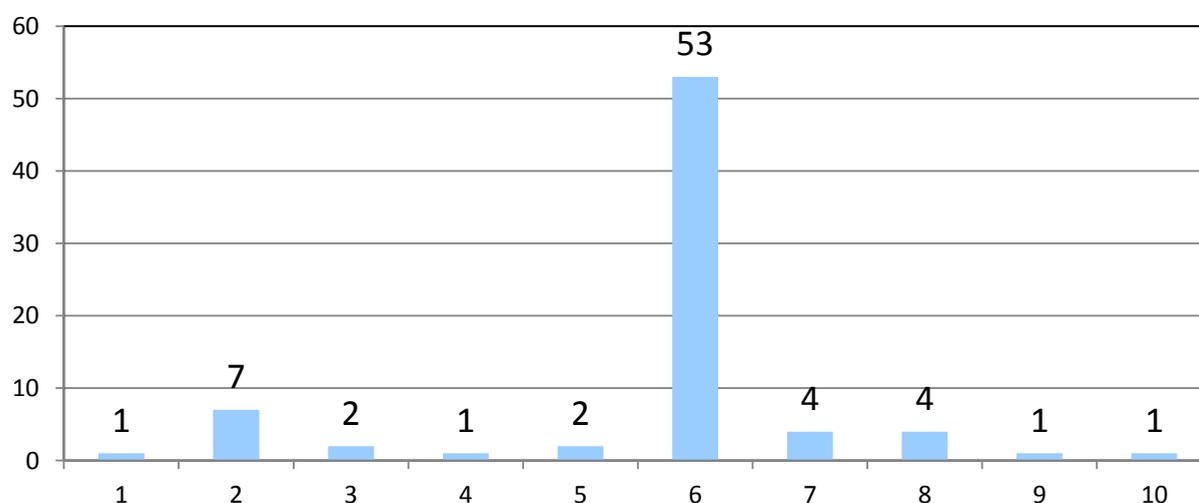
[10] 科学技術系のあなたが企業に就職した場合、どのような業務を担当したいですか？

1.あくまで自分の専門分野 2.科学技術分野なら何でも 3.事業やスタッフでもOK 4.科学技術系以外の業務を



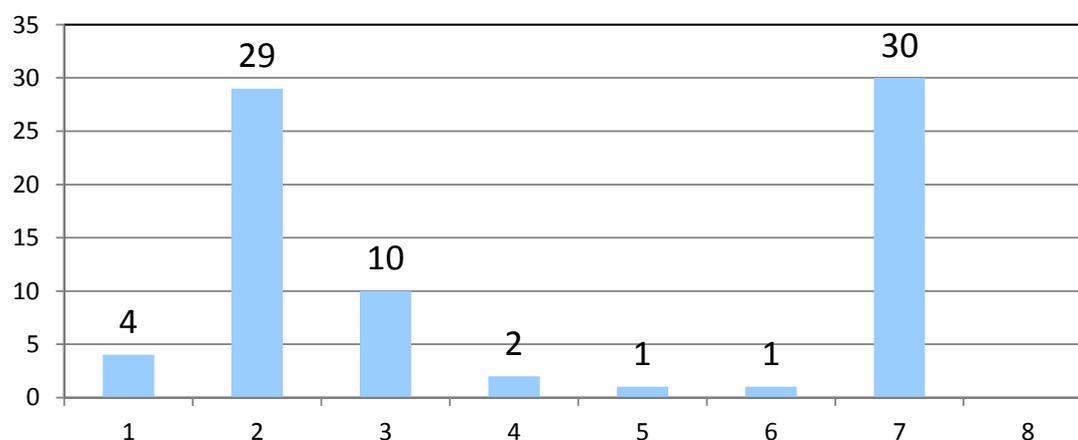
[11] A-COSA開催はどのようにして知りましたか？

1.教員からの情報 2.友人/知人情報 3.S-cubicのホームページ 4.S-cubicからのメール 5.掲示板ポスター/ちらし
6.シラバス 7.食堂の三角/蒲鉾POP 8.大学院入学式ガイダンス 9.他の講義での紹介 10.その他



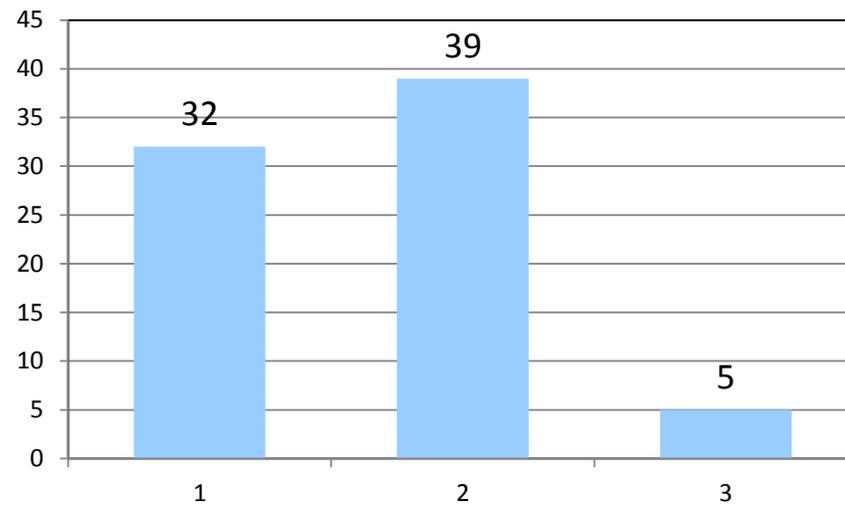
[12] A-COSAに参加の理由は？

1.興味ある企業が参加していた 2.企業の研究開発を知りたい 3.企業の人事制度や勤務実態を知りたい
4.講師の先生と意見交換したい 5.教員の勧め 6.友人/知人の勧め 7.単位が欲しい 8.その他



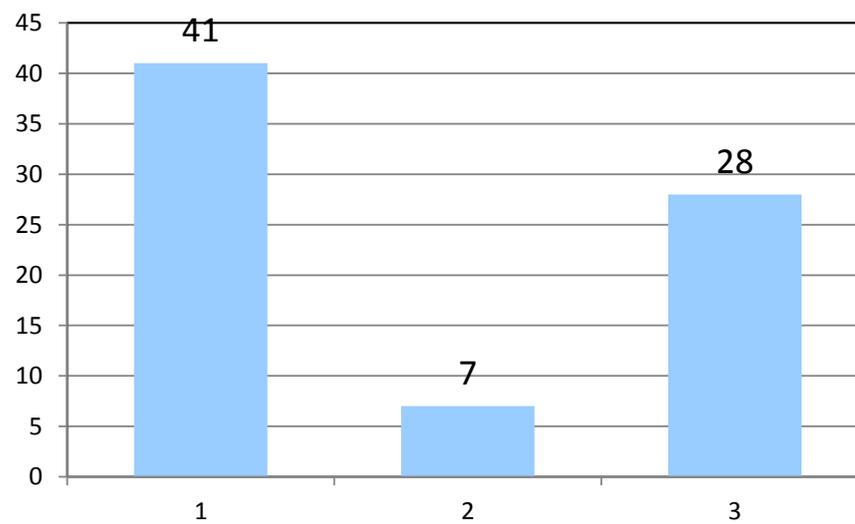
[13]A-COSAにまた参加したい？

- 1.是非参加したいと思う 2.テーマ次第で参加する 3.もう参加しないと思う



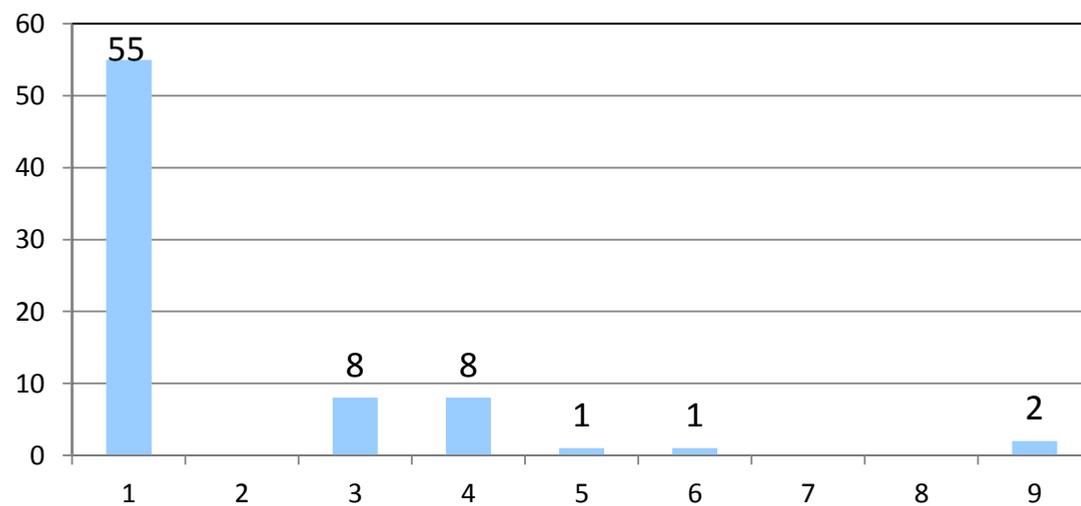
[14] このようなセミナーの開催希望日時は？

- 1.平日に開催が良い 2.土日の週末が良い 3.都合つけばいつでも



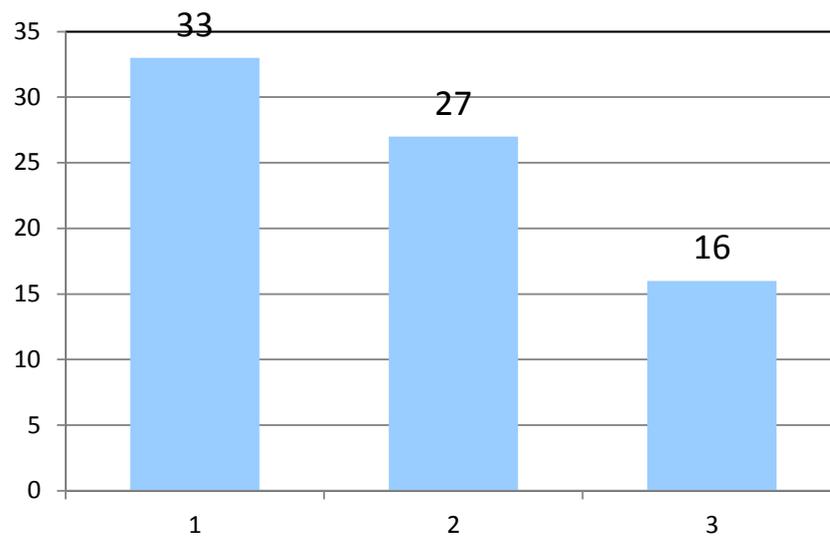
[15] あなたの研究の科学技術分野を教えてください

- 1.ライフサイエンス 2.情報通信 3.環境 4.ナノ・材料 5.エネルギー 6.製造技術 7.社会基盤
8.フロンティア 9.その他



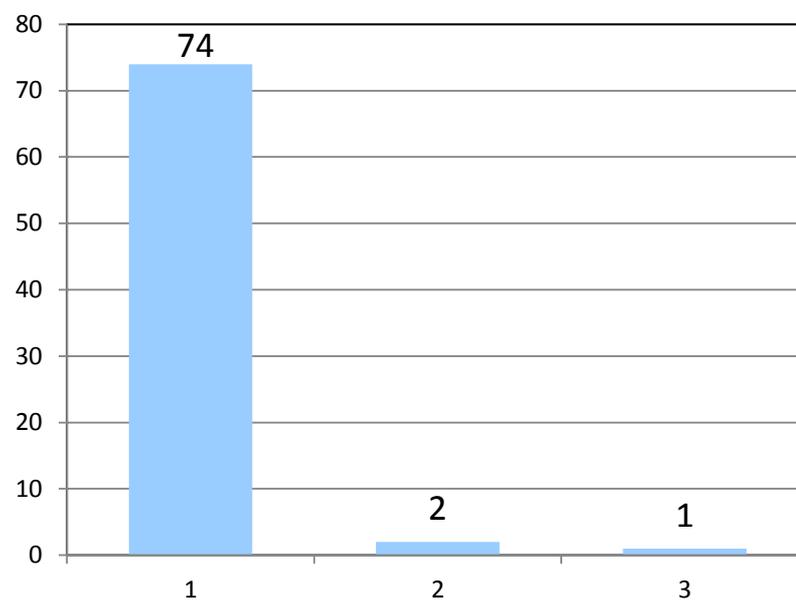
[16] あなたは研究の専門分野以外に社会で活躍できる(自己アピールができる)能力はあると思いますか？

1.はい 2.いいえ 3.わからない



[17] あなたは今後、社会で活躍できる能力を伸ばしたいと思いますか？

1.はい 2.いいえ 3.わからない



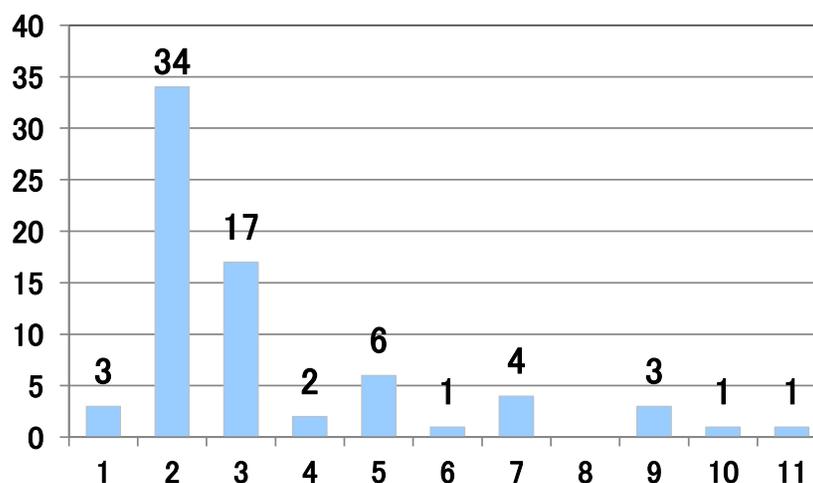
H24年度 Advanced COSA(1) アンケート回答者/グラフ

[1] 回答者数

MC1	55
MC2	7
DC1	6
DC2	1
DC3	2
PD	0
その他/教員など	1
未回答	0
計	72

[2] あなたの所属を教えてください。

- 1.理学院/理学研究院 2.生命科学院/先端生命科学研究院 3.農学院/農学研究院 4.工学院/工学研究院
5.環境科学院/地球環境科学研究院 6.情報科学研究科 7.総合化学院 8.水産科学院/水産科学研究院
9.医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学 10.その他 11.未回答



H24 Advanced COSA(1)アンケート/自由記入欄

[2] 講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。	
1	すぐに結果が出なくても、好きなことを研究させてくれる会社の環境が大切であるということ。自分のやりたいことに、周りを巻き込む力の大切さ。また、自分の専門とは全く違う、建設業の話がとても新鮮でした。五十嵐さんの講演が面白かったです。
2	自分の専門とは異なる企業がどのような研究を行っているか知れて良かった。大学と企業の研究の違い。
3	『他の人が100やっている中で101やるのが重要』という言葉は日々意識して生活したい。広い分野に関われることが企業研究の魅力だと思った。
4	ソニーではあえて異分野に入った事でその分野の知識は会社内でトップクラスであったと五十嵐さんがおっしゃっていた事。ライオンやソニーで新しいライフスタイルをつくるという事。
5	企業での研究内容、求められることなど漠然としていたことが、ある程度具体的にイメージできたので良かったです。
6	一番印象に残ったのは、企業におけるジョブローテーションの実情、企業による違いがあるということでした。また、研究部門にとどまらない視野を持つ参加学生の多さも参考になりました。少し違う観点で印象に残ったのは、講師の方全員「就職活動をしていない」という点です。時代、なのかもしれませんが、エントリーシートや面接試験を今後に控えた者としては少し環境が違うというところに違和感を覚えました。
7	企業に行った場合も、勉強は続けていくことがわかりました。
8	大寺先生の講演の中で、結果を出せていなかった研究所の所長に就任し、研究を進めるためのシステムや、そこで働く人間の意識の面で改革を行ったというお話が、企業だけでなく全ての組織にとって重要なことだと感じた。
9	専門性を生かすということをもっと考えなければならぬと感じました。
10	JTの講演で「広い視野・高い視座」の必要性は講義を通してどの講演者も持っているように感じた。
11	企業の方の生の声を聞く事が出来て、大変参考になりました。企業就職後の研究者のキャリアパスについて伺うことができおもしろかったです。
12	講師と質問、討論の時間を多く設けられており、企業の研究・開発について授業だけではわからない部分まで詳細に知ることができました。研究開発において企業によってどういったコンセプトに基づいて行うのか、そういった企業毎に違いがあることを知ることができたので、そういった点がとても印象に残りました。
13	思ったよりも研究一本で定年まで行く人は少ないんだなあと思いました。企業での研究活動について予想以上にわかり易く講演して頂けました。
14	企業の方の口から、企業での研究について話を聞く事が出来て非常に参考になりました。企業での研究というと直接的な商品開発のイメージが強かったのですが、より基礎の内容、中長期的な研究も行われている事を知り興味深かったです。
15	企業によって理念や研究開発への姿勢、人事などが異なることがわかり参考になりました。今後の企業研究に活かしていきたいと思います。
16	その会社の強みや弱み等を教えてもらったことは大変良かったと思います。
17	企業の研究職について、今までどのようなものなのか全然イメージがわかかなかったのですが、ライオンさんの話などで、開発部門と応用研究部門があることなどがわかりました。
18	五十嵐さんの講演が、非常に参考になりました。自分がまだ修士1年ということもありますし、他分野に関する知識について皆無であることもありましたので、他の講師の皆様のお話には理解の難しい部分が多々ありました。一方、五十嵐さんのお話では博士対象とされてはいたもののかみくだいた表現で、大学と企業の違いやご自身の経験を話していただき、大変分かりやすかったです。
19	企業の実際の研究の一部を知ることが出来、具体的なイメージができた。就職のきっかけは”縁、マッチするかどうか”がかなり大きいと感じた。
20	就職先として考えていなかった企業のお話が聞いて視野が広がった。いろいろな分野を受け入れていることが分かり、選択肢の幅が広がった。
21	毎日を一生懸命過ごすことが大切なんだという事を実感した。毎日の積み重ねが効いてくる。
22	講師の方が、自身の企業で誇れるものは？という質問に、迷わず「チームワークです」と答えられていた事。そんな企業で働きたいです。
23	大学でも企業でも、研究という点では、「現象の本質を捉える」ということで同じだが、それに加え企業ではそれを「モノに仕上げ、売る」ということが重要になってくる
24	2日目の東急建設さんの業務内容が興味深かった。一つの企業でも様々な業務内容があり専門にこだわらず様々な分野の企業研究を行い就職活動に役立て、後悔しないような就職をしたいと思う。

25	ドクターは就職に不利という印象をこれまで持っていたが、今日の講義を受けて、専門性にとんだドクターは必ずしも不利でないと知った。
26	五十嵐さんのお話で、私自身興味のある分野へ、キャリアパスのことを考えずに進学してきたので、自分の武器を他の人が持っていない分野で、「境界領域の人材」を目指す、という言葉が心に残りました。ドクターに行くことは今のところ考えてはいないのですが、修士としての就職活動でもその視点での活動ができるのではと思いました。
27	企業への就職は、自分が思っていたよりもはるかに難しいと感じた。高い能力を持つ、企業が求める学生がそれほど多くいる、というのも今日の講演を通して思い知った。
28	ライオンとソニーで同じことを言っていたが、商品を出すだけでなくその商品により新しいライフスタイル、生活習慣の創造を目的としているという言葉に感動した。
29	企業の研究は幅広く、一つの研究分野に関わり続けるのは難しいのかなという印象を受けました。ただ、それがマイナスに働いたわけではなく、同時に様々なことに関われるのはおもしろそうだと思います。
30	ライオンの大寺さんの講演にて、商品開発の具体的な説明や、企業研究者がどのようにキャリアを積んでいくのかがわかり易く示されていて、イメージがつきやすかった。
31	自分がどういう場所で働きたいか全く定まっていなかったもので、適性や目標について考えるきっかけになりました。ライオンの方の、製品開発についてのエピソードが印象的でした。

[3] 講演内容について聞いてみたかった点や、期待していた事をご記入ください。

1	講師の方が、今の会社をなぜ選んだのかといったような個人的な経験談、印象に残っている仕事、など。
2	研究室の先生のサポートがない場合の博士の企業就職について、同じ立場で成功された方の実体験をお聞きしたいです。
3	研究の生活やラボの様子(無理かもしれませんが)など少し具体的な話を聞きたかったです。大学との違いなど
4	研究開発部門だけでなく、事業や知的財産門など他の分野で活躍されている方のお話も聞いてみたかったです。
5	モチベーション維持の秘訣
6	社会に出てリーダーシップをとっている先生方の経験から、人間として最も成長することのできたエピソードを聞いてみたかった
7	社会で働いている人々の話を聞いて、仕事の楽しさを知りたかった。
8	博士で入社された方が、どのようなバックグラウンドを持って、企業内でどのような研究に携わっているかより具体的に聞きたかったです。
9	一つの企業でも様々な事業を行っているはずなので、主力の1つの研究内容だけでなく、行っている様々な内容を聞きたかったです。
10	今まで就職活動をしたことが無かったので、企業での研究・開発がどう行われているか、大学での研究との違い、求められることは?といったことを知りたくそうした講演を期待していました。
11	講演をしてくださった以外の研究者の企業での研究生活について知りたかった。異なる分野との交流例など。
12	各業界の平均年収(給料)、労働条件。
13	博士取得者の採用が増えているとは言われているが、実際はどうか。博士取得者の母数に対しての増加率で見るとどう思うか。
14	企業での実際の研究が、どのように進められているのか、研究者が、どのような一日を過ごしているのか、にも興味がありました。
15	社会人の話を聞く場自体がめったに無いので就活前に少し味わえたら良いなと思ってました。
16	各企業で研究職の方々がどのような役割を果たしているのかという点
17	講師の先生方の専門内容が自分の専門と一致していないことは必然でありますので、先生方にはご自身の会社の特色や、スローガンに込められた意味などをもう少し詳しく教えて頂きたいです。特色の違いを比べられると、企業研究に更なる興味が湧くと思います。
18	表面的にはわかりにくい企業の実情など。
19	キャリアパスについて、企業の実際のところを聞いてみたかった。また、それが聞けて良かった。
20	建設業界での地質学者の役割について。1つの建物を建てる際のグループワークのやりがいや大変さ。世代の近い先輩の話を聞いて、博士時代に化学学生生活の中で心がけていた事
21	ソニーに入社された女性の先輩の話は興味深かったのですが、世代の近い方の話をうかがうという意味では、それほど特殊性や意外性のない方のお話の方が参考にしやすかったように思います。

[4] 今後、Advanced COSAで講演してほしい講師の分野(企業/業種) を教えてください。	
1	マスコミ、商社、公務員 私は修士ですが、MOTなどで言われているように「博士の活躍の場は多様」なのか、理系ではない分野の仕事に理系の人でも文系の人でも博士がどう関われるか知りたいです。
2	北海道の企業 札幌圏で働きたいので、小さい企業でもいいので研究部門を持っている企業の方のお話を聞きたいです。
3	鉄道関連メーカー
5	食品、医薬など生化学系の研究部門を持つ企業
6	資生堂などの化粧品業界。マイナビ登録からエントリーシートを書き、面接をくぐりぬけてキャリア形成を積んだ方のお話を是非聞いてみたい。教授の推薦ではなく、自ら登録しキャリアをつかんだという内容の方が今後の学生の状況に合うと思います。昨年卒業されたドクターの先輩に話を聞くと、面接時の感覚で「話がかみ合う」という人事の方との適合を感じられたと言っていました。みなさんがそうなのか？
7	バイオテクノロジー産業に関わる企業、食品製造など。
8	特にないが1企業の時間を減らし、企業数を増やして欲しい。
9	国立の研究所などで研究をした事のある人など。製薬、一度企業で働いて学術に戻った人など。
10	化学
11	海外で活躍されている方。就職して数年の方、就職面接を経験された方の話も聞いてみたいです。
12	理系の人が多く活躍しているいわゆる”文系企業”。
14	分野というより、この会社でこんな事をやっていたのかという意外な事をやっている話を聞きたい。
15	鉄鋼、知財。
16	資源開発関連の企業について息の長いプロジェクトを億単位の経費をかけて行うやりがいや大変さを知りたい。民間の企業のことを知ること大切だと思いますが国の機関(省庁、県庁、市町村の役所)の業務内容も知らないので、機会があれば話を聴いてみたい。
17	医療メーカー、ベンチャー企業
18	水産や環境関連の職種について

[5] Advanced COSAについてのご感想、又は、S-cubicへのご意見・ご要望などを自由にご記入ください。 (事務局の回答掲載)	
1	講師の方のお話が、どなたにも聞きやすく興味深い内容でした。スクリーンのピントが合っていなかった？のかもかもしれませんが、スライドが見ずらいときがありました。
回答	⇒今後気をつけます。
2	個別の相談にも乗って下さるのでしょうか・・・？大学教員に就職サポートするように働きかけてほしいです。
回答	⇒DC以上なら個別に応相談です。
3	シラバスに載っていなかったらこのイベントがあることを知らない人が多いと思った
4	もっと多くの企業で、若手研究者の話を聞きたかった。
5	企業の説明や研究内容だけでなく、先生方が研究の中で大きな影響を受けたエピソードなどももう少し聞きたかったです。
6	大学は研究をするところであって、そこにいる学生も研究をしているが実際には社会人にならなければならない。博士に進むということは進む段階で研究者になるのか社会人になるのか決めなければまともなキャリアパスを得られないように感じた。実際に学生は何を考えるべきなのかわかりませんでした。
回答	⇒常に自分の行くべき方向性を意識することは良いことだと思います。
7	キャリア講演というより企業説明が主だったように思う。北大の卒業生等北大に実情をよく知る人に、就職を考えたあたりから今に至るまでの話が聞きたい。
回答	⇒毎回必ずひとりは若手北大OB、OGです。

8	私は現職の高校教員なので、企業の方のお話に興味があり、出席させて頂きましたが、理系学生のキャリア形成の手立てとして北大がやっていることを多くの高校教員が知っておいてもよいのではないかと思いました。次回お話し頂けるのであれば、お話を聞かせて頂きたいと思っています。(時間も都合もあえば)
9	企業の研究・開発についてよりリアルな実態を知る事が出来、とても興味深い講演でした。
10	自身のキャリアパスを考える良い機会となった。
11	非常に深いお話を聞いて、興味深い講義でした。一方でもっと多様な業種の方々の話も聞けたら嬉しいと思います。
回答	⇒密な議論をするにはこの形式が最も効果的だと思います。年2回実施しており、全て別の企業ですので、多く参加してください。
12	これをきっかけに、様々な種類の企業について調べたいです。ソニーの方のお話が身近に感じるとともに、勉強になりました。次回もぜひ参加したいです。
13	懇親会の時間がもっと長ければうれしい。
14	Advanced COSAの回数を増やして欲しい。
回答	⇒講師確保が限界です。
15	ハンドアウトや講演の概要などを事前に配っていただけだったので、学習がしやすかったです。出席者の多くが修士だと思うので、もう少し修士に求められる資質等にもフォーカスしてもらえるとよりありがたいです。
16	講師一人ひとりの時間をもう少し短くして、様々な分野の講師の人数を増やして欲しい。
回答	⇒講師をたくさん、同時に集めるのは非常に難しいのをご理解下さい。
17	これまでこのようなセミナーに参加したことがなく、就活前にとっても良い機会になりました。秋も日程が合えば参加したいです。
18	専門を生かせる企業ばかり見ていたが、一見専門外の企業でも、こういうところで生かせるのかという発見があり、とても面白かった。次回も参加したい。
19	自分の専門外の研究開発の話が難しすぎず、理解しやすい説明であった。
20	配布資料がWEB上で事前に見られたら、質問を考えやすいと思う。
回答	⇒講師の先生方もお忙しいため、資料はどうしても直前になります。しっかり講義を聞く事でカバーしてください。
21	質問用紙に記入した内容を名指しで言われるのが嫌でした。周りから見たら、「質問させられている」ように見えると思います。ああいうやり方はやめてほしいです。この講義とかぶってしまい、受けられなかった講義がありました。もう少し時期をずらして欲しかったです。
回答	⇒講義は講師との双方向の議論が重要です。質問内容を名指しされるのが嫌というのは理解できません。講義への参加態度に疑問を感じます。また、全学共通講義ですから、他の講義との重複は避けられません。ご理解ください。